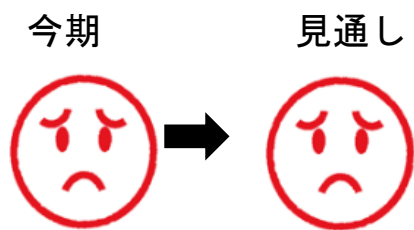


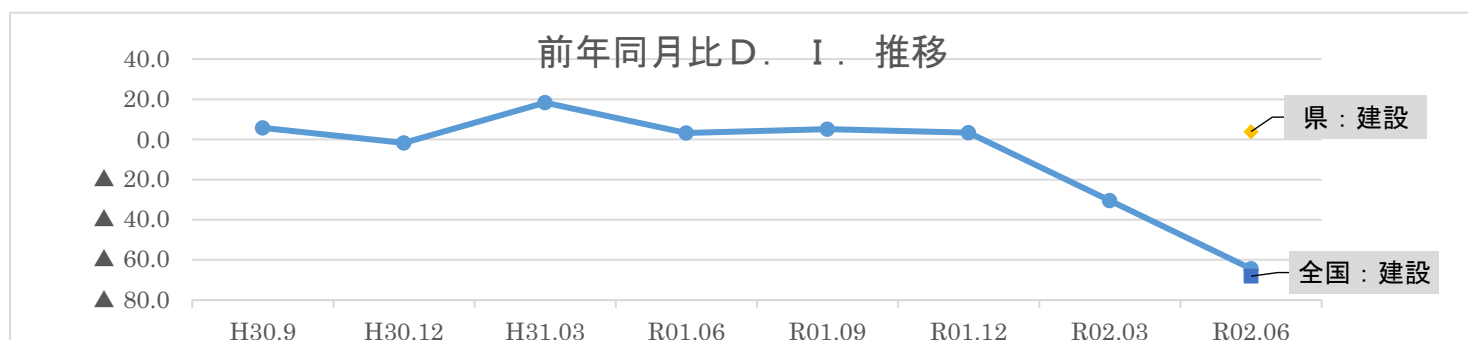
建設業

回答率：95.2% (59/62)



■丹波市の景況推移

新型コロナウイルスの影響による部材の調達は改善されているものの、今後も景気が落ち込むことが予想され、緊急性のある工事以外の受注は減少していくと思われる。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

春先の、主に中国からの部品や材料調達が困難になっていた状況は解消されたが、4～5月は公共工事が少ない時期であるのに加え、消費者のマインドが落ち込み、新築・リフォームといった前向きな話が少なかった。

【丹波市の来期の景況予想】

コロナの自粛期間中(4月～6月)の営業活動(イベントや完成見学会)ができていないことで、手持ちの受注案件も少なく、7月以降の売上減少は今後さらに表面化してくると予測される。

■全国の景気動向

新型コロナウイルスの影響で一般的に工期が遅れが発生しており、資金繰りに影響が出ている。予定していた工事の中止や延期が発生していることや、投資をためらう動きが出ていることから、この先の受注は減少すると思われる。

■県下の景気動向

元々、公共工事等が少ない状況にあり、厳しい業況が続いている。未だ建築関連の一部業種においては、新型コロナウイルスの影響により一部材料の入手が困難となっている。また、外出等の制限が解除されたものの、取引先の営業自粛により受注及び売上が減少しており、今後も影響が続くと予想される。

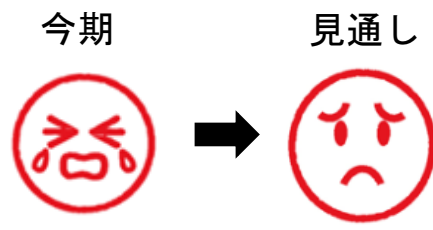
■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	1	1	0	2	0	4	6.8%
不変	1	5	1	4	1	1	13	22.0%
悪い (悪化+やや悪化)	3	15	6	8	4	6	42	71.2%
合計	4	21	8	12	7	7	59	100.0%

製造業

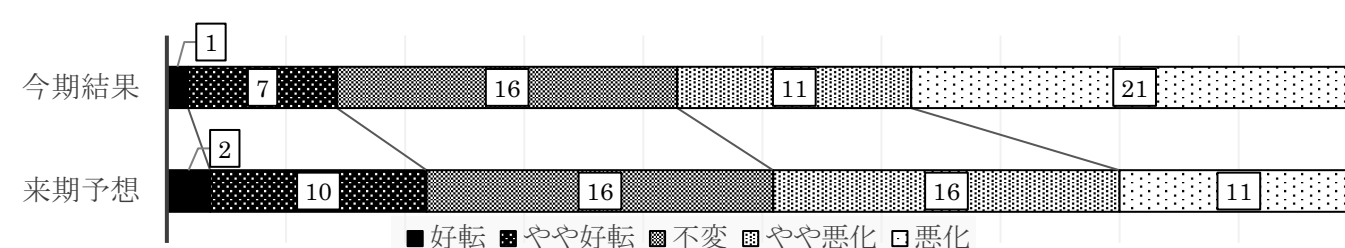
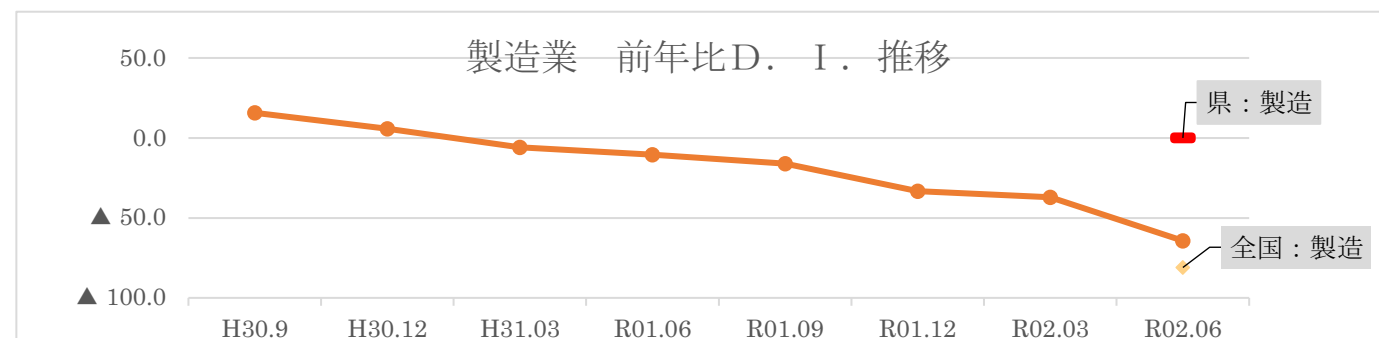
回答率：98.2% (56/57)

2020年4月～6月期調査



■丹波市の景況推移

新型コロナウイルスの影響により、受注量の減少、生産調整等により休業を余儀なくされている事業所があり、引き続き雇用調整助成金の活用や資金繰り確保が必要となる。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

受注量の減少、生産調整により大幅な業績悪化を招いており、丹波市の地域経済の停滞に繋がっている。従業員を計画的に休業し、雇用調整助成金の申請をしている事業所が多く見受けられる。

【丹波市の来期の景況予想】

引き続き厳しい状況で先行きが不透明ではあるが、徐々に物が動き出している。

■全国の景気動向

緊急事態宣言解除後も観光客等が戻らない宿泊施設や外食産業へ納品している食料品製造業の受注の減少、国内外で自動車販売が落ち込み、それに関連する部品の受注減少、生産調整の動きがサプライチェーン全体に波及している。一方で、新型コロナウイルス感染症関係の衛生製品製造業や在宅勤務の普及で需要があった電子部品製造業は業績の改善傾向が見受けられる。

■県下の景気動向

緊急事態宣言解除に伴い、個人消費が若干持ち直しの動きとなったが依然として前年比を割っているところが多い。製造業は製造物や納品先により二極化されており、大半は業績の低迷があるが、一方でコロナ特需を受けている業種もある。

■地区ごとの回答(前年同期比)

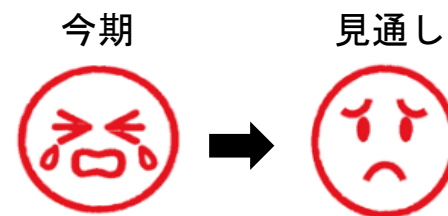
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	1	0	2	2	0	6	10.7%
不変	1	1	2	1	2	1	8	14.3%
悪い (悪化+やや悪化)	4	11	5	4	13	5	42	75.0%
合計	6	13	7	7	17	6	56	100.0%

小売、卸売業

回答率：91.9% (68/74)

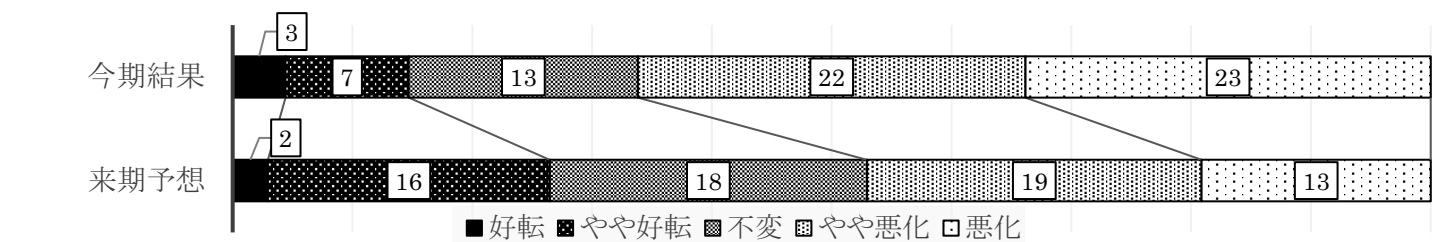
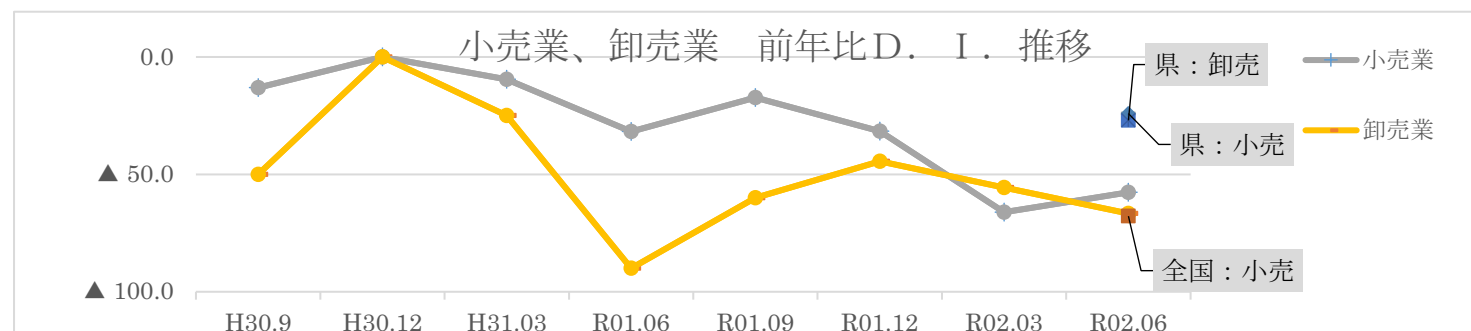


良い やや良い 普通 少し悪い やや悪い 悪い



■丹波市の景況推移

緊急事態宣言の解除以降も不安定な状況が続いているが、食品・新型コロナ関連商品の需要は高まる一方、衣料関連の売上増は厳しく、2極化がすすんでいる。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

スーパーやコンビニ、ホームセンターなど生活必需品を揃えている事業所は利用者が増えている。外出自粛要請が出たため、ネット等での売上増が顕著にみられた。一方で衣料品それ以外の業種に関しては、外出制限の影響で来店者数が減り、売りに上げに大きな影響を与えている。

【丹波市の来期の景況予想】

新型コロナウイルスの終息の目途が立たず、この状況がしばらく続くと考えられる。イベント（夏祭り・秋祭り）の中止や自粛に伴い季節商品の需要増が見込めない状況である。丹波市の景況も緊急事態宣言の解除以降も不安定な状況が続く、景況の回復は、もうしばらく時間がかかりそうである。

■全国の景気動向

新型コロナウイルス感染拡大の影響から、外出自粛傾向にあり食料品関係売上増加傾向にある。又、特別定額給付金の支給が始まり、耐久消費財を中心に売上が多少回復傾向にある。エアコンなど季節商材も売れつつあるが、衣料品関連は回復への足取りは重い。

■県下の景気動向

巣籠り消費傾向が継続している感が強く、保存が利く加工食品を中心に売上増加傾向である。家電販売は、特別定額給付金の支給の影響で大型商品や季節商材（エアコン）などの売上が増加。新型コロナ関連商品（マスク・消毒液・ハンドソープ）の売上也好調である。一方、衣料関連の売上は伸びず二極化が進んでいる。

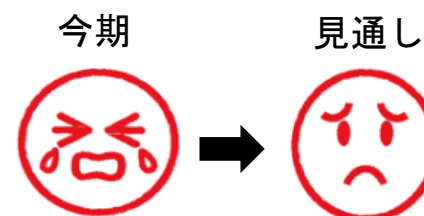
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	5	0	1	1	1	8	11.8%
不変	2	8	0	0	2	0	12	17.6%
悪い (悪化+やや悪化)	9	13	5	8	8	5	48	70.6%
合計	11	26	5	9	11	6	68	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

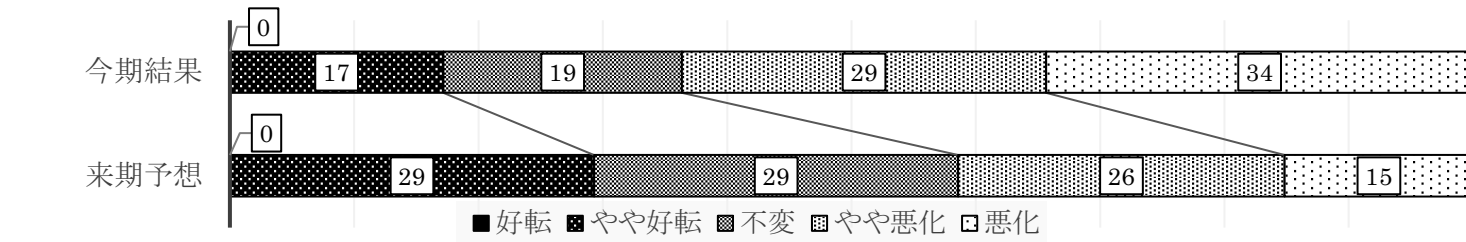
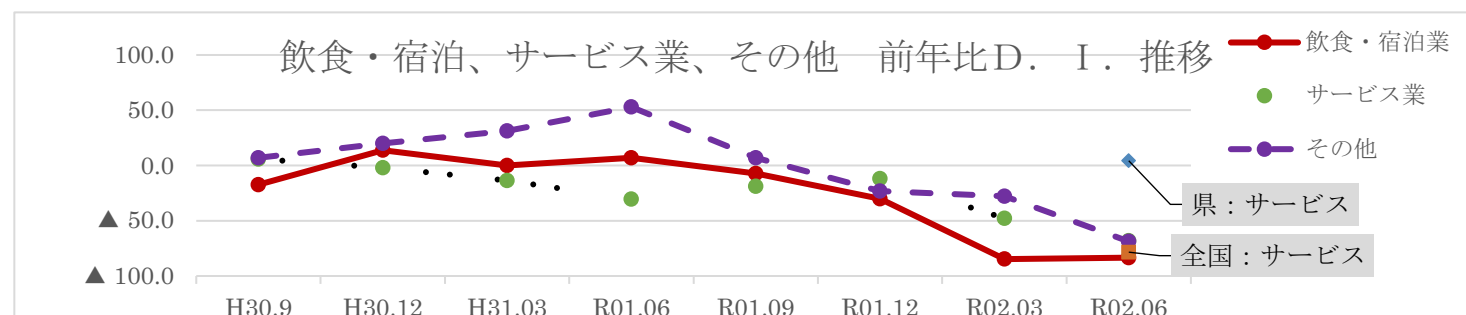
回答率：92.5% (99/107)

2020年4月～6月期調査



■丹波市の景況推移

理美容業種や洗濯業種等いくつかの業種で若干の回復の兆しが見られるものの、依然幅広い業種で需要減退状況に変化が見られない。感染症拡大の可能性が高まる中で、危機感が高まっている。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

落込んでいた理美容関係の事業所では、今期は利用客が戻りつつある。飲食業においても、緊急事態宣言が解除され、テイクアウトや個人客中心にお客様は戻りつつあるものの、宴会や大人数の需要は停滞したままである。また観光宿泊業の業況は改善の兆しは乏しく、雇用調整助成金等を活用しながらしのいでいる状況である。

【丹波市の来期の景況予想】

公的支援施策を活用しながら各業種において感染防止対策に取り組み、第二波到来に備えているものの、これ以上感染拡大の影響が大きくなると、消費者の外出機会が減少することで、市内サービス業種全体に影響が及ぶ可能性がある。

■全国の景気動向

宿泊業を中心に観光関連の事業者では、春先と比べると予約が増えつつあるという声もあるが、いまだ休業状態の事業者も多く、回復への足取りは重い。GOTOトラベルキャンペーンも開始されるが、学校の夏休み期間短縮により旅行需要の伸びは限定的と予測される。

■県下の景気動向

クリーニング・洗濯業・清掃業については、夏物への衣替え、洗濯代行の需要増により好調な事業者がみられる。また理美容業については、緊急事態宣言の解除を受け、来店客数が戻ってきており、回復の兆しが見られるという声が多い。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	4	3	0	0	0	0	7	7.1%
不変	1	4	1	4	2	1	13	13.1%
悪い (悪化+やや悪化)	19	24	7	9	9	11	79	79.8%
合計	24	31	8	13	11	12	99	100.0%